

電波天文分野将来計画検討ワーキンググループ(WG)進捗報告 5

2023 年 3 月 27 日 電波天文分野将来計画検討 WG

○第 5 回 電波天文分野将来計画検討 WG 会合

日時：2023 年 3 月 23 日（木）13:00~15:00 (Zoom)

参加者（敬称略）

WG：赤堀、泉、江草、大西、久野、河野、（小嶋）、坂井、高橋、田村、（新沼）、秦、藤沢、百瀬、渡邊

● WG 立ち上げ経緯の確認（大西）

- マスタープランが無くなり、大型計画の進め方が不明瞭になった
- 国立天文台が主導する計画については、国立天文台でも議論が進められている
- 現状を理解した上で、「この WG で議論すべきことは何か？」を議論する

● 大型計画に関する文科省、学術会議、国立天文台等の関連状況の理解（関係者の報告、質疑応答）

○ 学術会議分科会（藤沢）

- 建設主体：天文台 and/or 大学、予算措置：文科省
- 文科省がコミュニティー（＝学術会議）の意見を聞いて予算をつける計画を決めていた
- 大型の計画は文科省が独自に調査を行って決定するが、どこかの時点でコミュニティーの意見が参照されるはず。
- その一方で、宇電懇として自身のために将来計画の議論をする場があることは重要である。

○ Q&A

- 学術会議そのものが将来計画を議論する場にはなれないか？→現時点では難しい
- フロンティア予算を考えている？→概算要求するものは全て対象だが、フロンティア予算の規模が大きい
- ロードマップは残っている？→残っているが、「未来の学術振興構想」とは繋がっていない

○ 国立天文台科学戦略委員会（河野）

- 科学戦略委員会での議論（国立天文台将来シンポジウム講演資料）
<https://www.nao.ac.jp/for-researchers/naoj-symposium2022/pdf/NAOJFutureSympo2022-Mitsuda2.pdf>
- 「3段階の道筋案」のうち「天文学のサイエンスロードマップ」に宇電懇から貢献できると良いのでは。一方、天文学会が天文学全体としての議論を主導すべきという意見もある。

○ Q&A

- 天文学会から打診が来るのか、宇電懇から推進するのか？→具体的な方針は未定。2階層目（国立天文台のサイエンスロードマップ）にinputをすることも考えられる。代議員総会への提案も準備中なので参加者を募集している。代議員としてのサポートも歓迎
- 天文学全体のロードマップはやや漠然としている（今の「グランドビジョン」と似ている）。個々のプロジェクトをまとめて「グランドビジョン」を作ることできる。
- 学会が主導するとなると、WG（委員会）を作って波長横断の議論をすることに

なるだろう。ただ、「何をどこまで議論するか」から議論が必要（学術会議分科会の時は優先度を中心に議論していた）。

- 1 階層目は網羅的な wish list でも良いのでは。ただし、外部から見た際の一貫性は重要と思われる（ただ集めただけだと、結局何をしたいのかがわかりにくい）
- 学会で取りまとめると、対外的な方針と内部向けの情報の 2 つにわかれるのでは
- 日本では国立天文台の比重が大きい、ある程度の独立性も必要（天文台としては推進できない計画を宇電懇としてサポートすることも可能）
- c.f. 天文台では次期台長の選考プロセスが始まっている

● 宇電懇での将来計画の検討の方法 → 将来計画 WG の役割の再定義

- 宇電懇での将来計画の持続的な検討方法
- 文科省などの動きとは関係なく、宇電懇としての将来計画の検討・報告書作成等を行うか？
- 日本の天文学の将来計画、国立天文台の将来計画、との関係
- ある時期を決めて何らかの文章にまとめると良いのでは。
- 将来計画をサポートできる（育てる）機会にしたい。
- 計画をリストアップしてタイムラインを示すだけで良いのか、優先度もつけるべきか？
- 他の波長や分野のコミュニティーに対して、電波分野の将来計画を示すことが重要では。
- 具体的に、SKA と ngVLA が共存できるか？や野辺山どうするか？を議論すべきか？
- 地球惑星科学分野の「夢」ロードマップ（https://www.jpgu.org/wp-content/uploads/2019/06/2019roadmap_p.png）のようなサイエンス主体のマップがあると良い？→このマップは一般向けに、個々の計画が入るように作った。予算要求の際には有用。学会が議論する良い場になるのでは。
- 学術会議「夢」ロードマップ（<https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-21-h132-05-3.pdf>）
- 宇電懇全体で議論すべきことと、WG で議論すべきことを考えると、WG ではプロジェクトの実現性なども考慮した議論もすべきでは。その上で、上記のようなロードマップを作ると良い？
- キーとなるようなテーマを 3 つ程度に絞る？その 3 つが大きく異なることが大事。それ以外のテーマへの波及効果もある。波長横断的なサイエンスを考えることも重要。
- 「自分自身が 10 年後に何をしたいか？」を中心に考えると良いのでは

● 具体的な A/I

- 「夢」ロードマップを作る？実現性やタイムラインも含めたより現実的なマップを作る？→タイムラインは前回のマスタープラン対応で作成したので、それを更新することはできる。その上で、サイエンスを主体にしたロードマップを作る？（一般向けに作ることの優先度が高いか？）
- 個々の計画の update
- サイエンス主体ロードマップ作成→まずは素案を作ってみる（5 月末までを目安に）
- 文科省や学会での活動への対応（詳細未定）

● WG のメンバー構成について：現メンバーの任期は 2023/5/31 です。

- 今後 20-30 年を見据えた議論なので、より若手の研究者に引っ張ってってもらう方が良い？
- 全員を改選することは無いと思うが、良い人がいれば入ってもらうのは歓迎